

令和 4 年度

学校評価に関する資料



田原市立童浦小学校

令和4年度 学校評価調査数（令和5年1月実施）

1 自己評価

（1）児童による評価 回答数416名

※無記名のアンケートによる記入方式

（2）保護者による評価 回答数221名

※無記名のアンケートによる記入方式

2 学校関係者（地域による評価） 回答数32名

※無記名のアンケートによる記入方式（一部郵送）

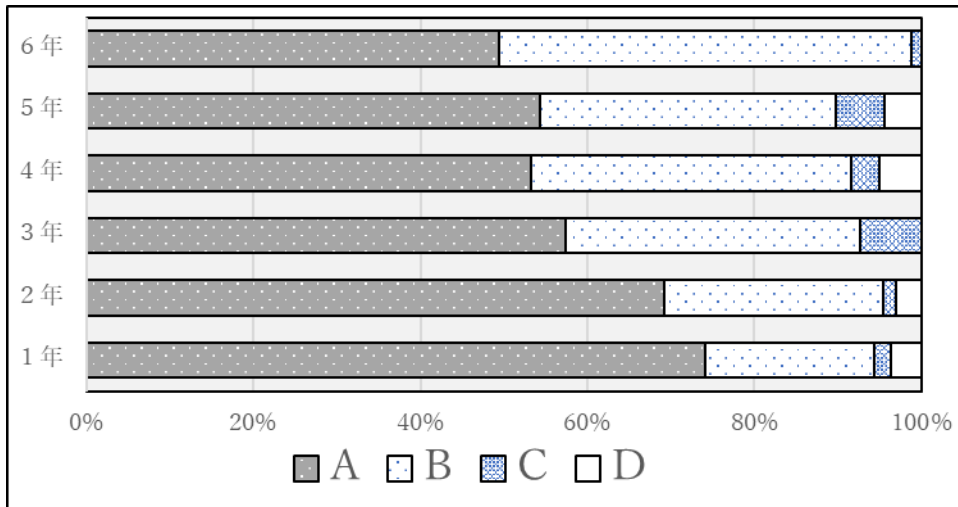
- ・校区コミュニティ協議会会長
- ・校区コミュニティ協議会理事幹事
- ・校区コミュニティ協議会顧問
- ・各地区自治会長
- ・田原市議会議員
- ・保護司代表
- ・校区老人クラブ会長
- ・童浦こども園長
- ・女性クラブ代表
- ・民生児童委員



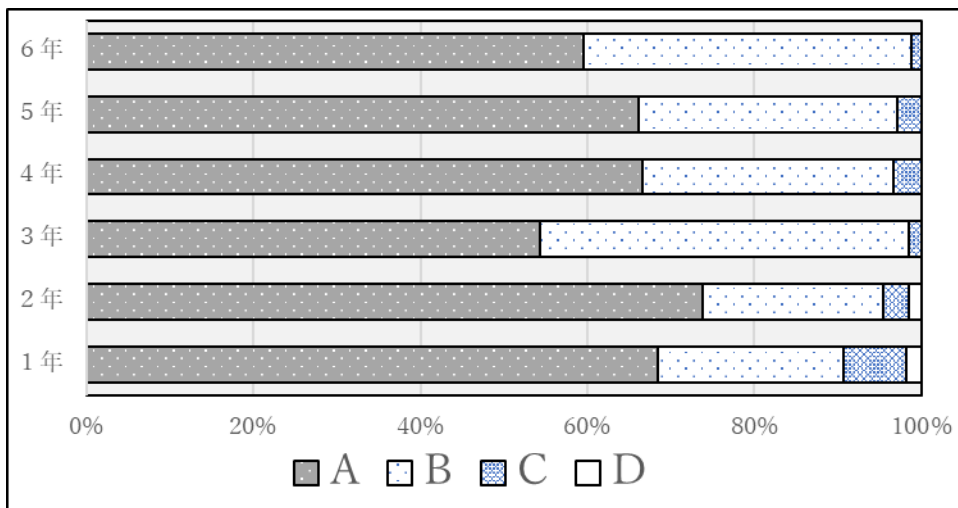
学校評価（児童：アンケートによる）

【設問１】 学校での生活は楽しい。

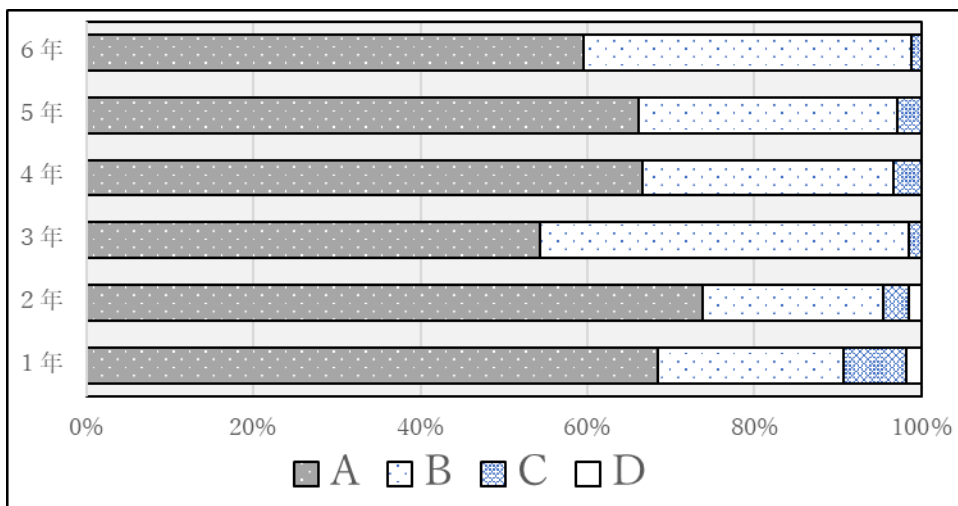
A：そう思う B：だいたいそう思う
C：あまりそう思わない D：そう思わない



【設問２】 友達と仲良くできた。

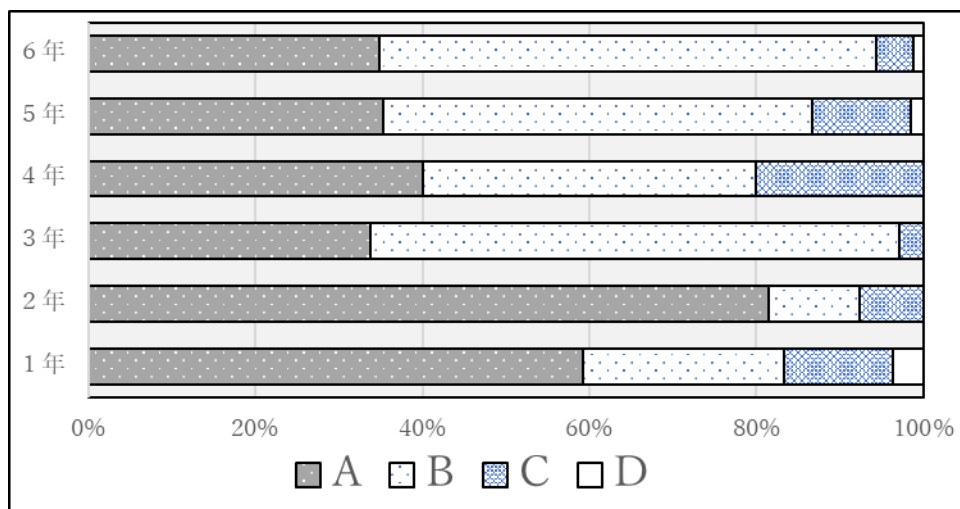


【設問３】 進んであいさつできた。

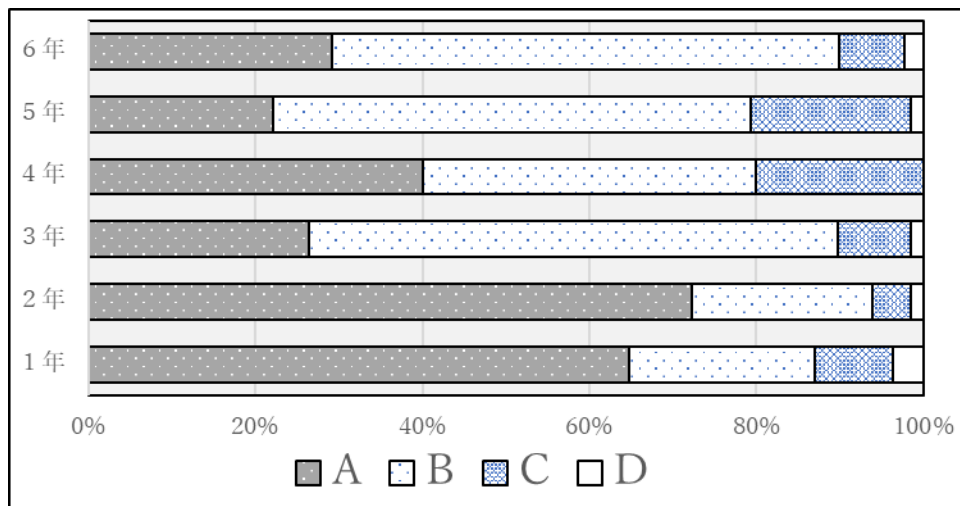


【設問４】 先生や友達の話をよく聞いた。

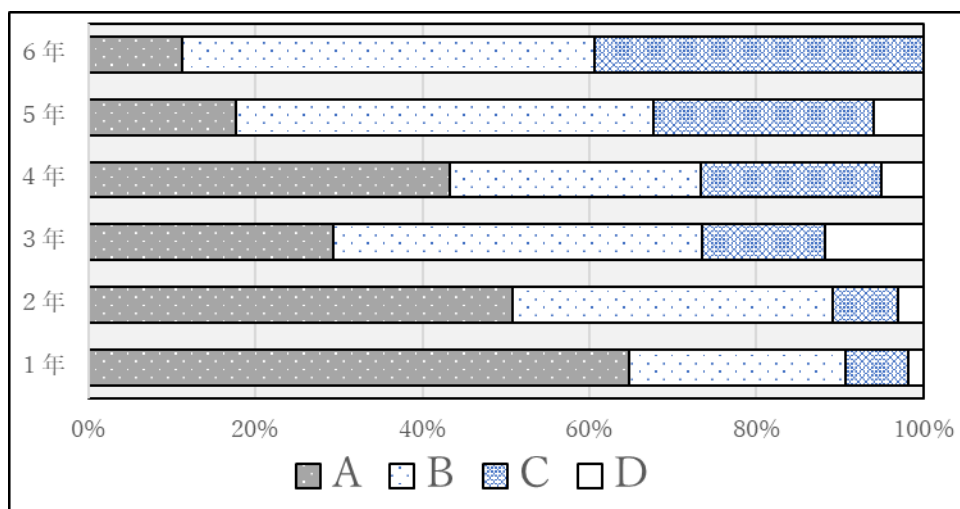
A：そう思う B：だいたいそう思う
C：あまりそう思わない D：そう思わない



【設問５】 授業中、真剣に勉強できた。

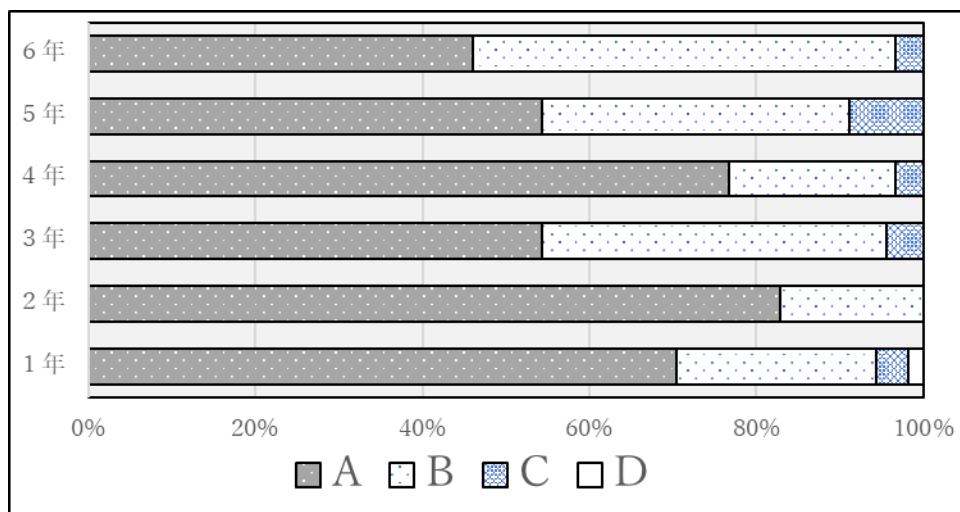


【設問６】 進んで調べたり発表したりできた。

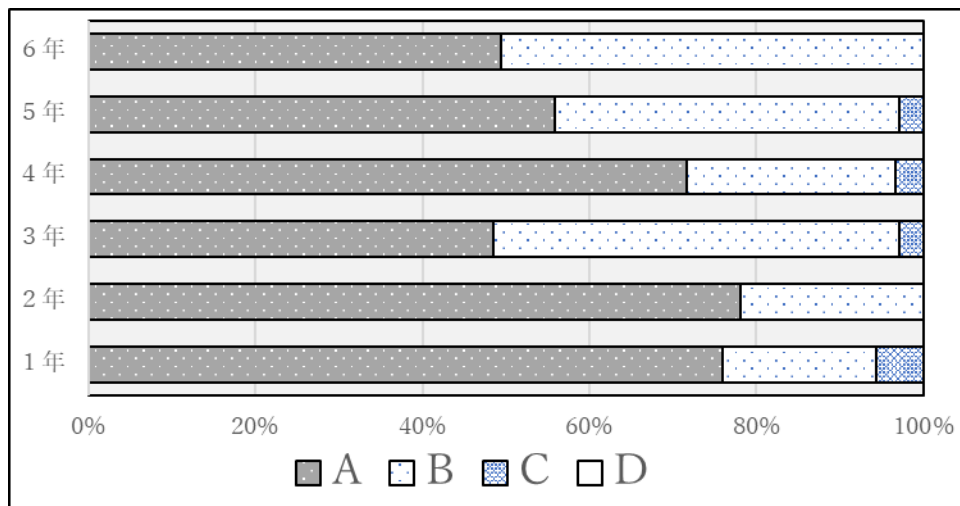


【 設問 7 】 係や掃除などの自分の仕事がきちんとできた。

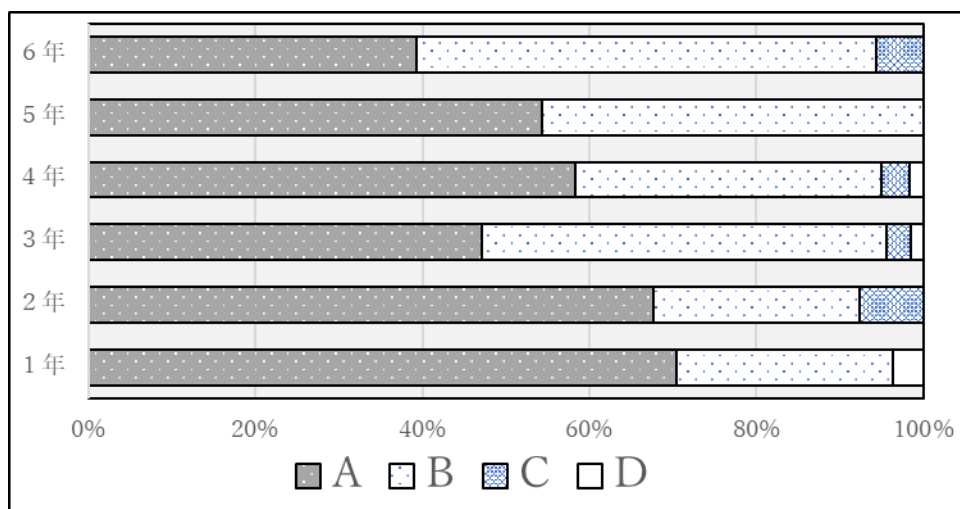
A : そう思う B : だいたいそう思う
C : あまりそう思わない D : そう思わない



【 設問 8 】 交通ルールや学校の決まりが守れた。



【 設問 9 】 友達や周りの人に親切にできた。



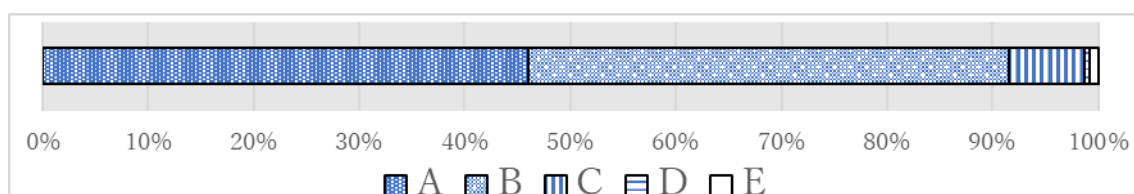
学校評価（保護者：アンケートによる）

令和5年1月実施

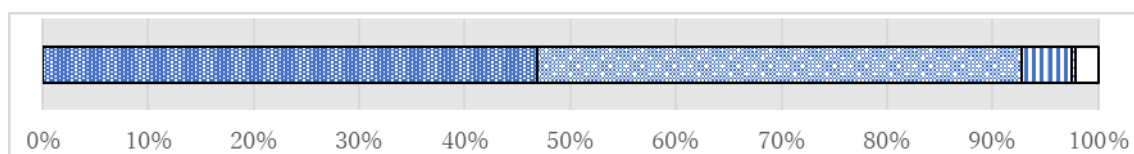


【設問1】 子どもたちは楽しく学校に通っている。

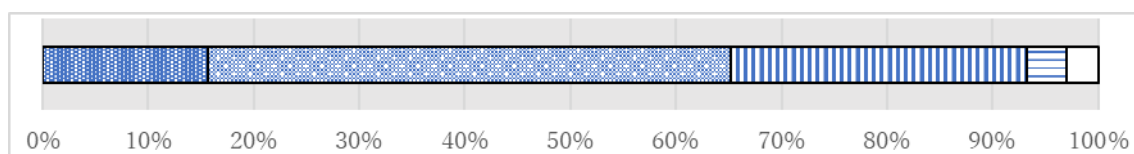
A：よくあてはまる B：ややあてはまる C：あまりあてはまらない
D：まったくあてはまらない E：わからない



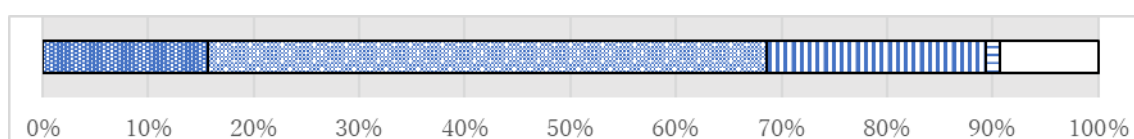
【設問2】 子どもたちは、学校で友達と仲良く過ごしている。



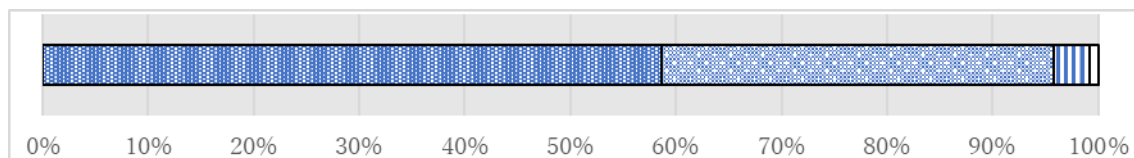
【設問3】 子どもたちは、あいさつができています。



【設問4】 子どもたちは、運動会や学芸会等の行事に積極的に参加している。

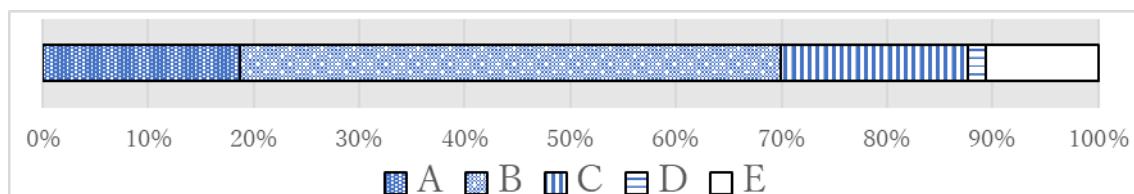


【設問5】 学校は、保護者に対して、学校の教育方針を分かりやすく教えている。

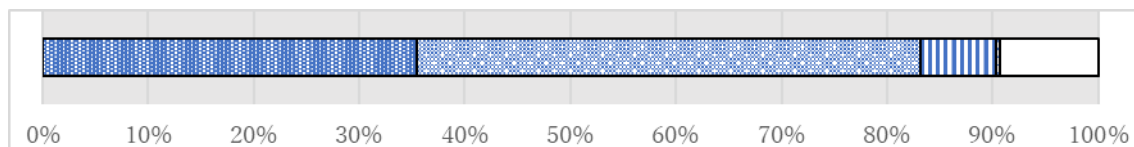


【設問６】 学校は、確かな学力がつくような努力と工夫をしている。

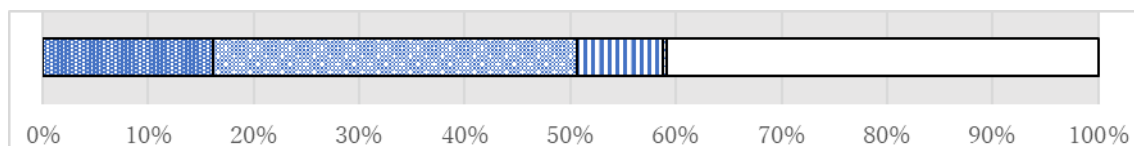
A：よくあてはまる B：ややあてはまる C：あまりあてはまらない
D：まったくあてはまらない E：わからない



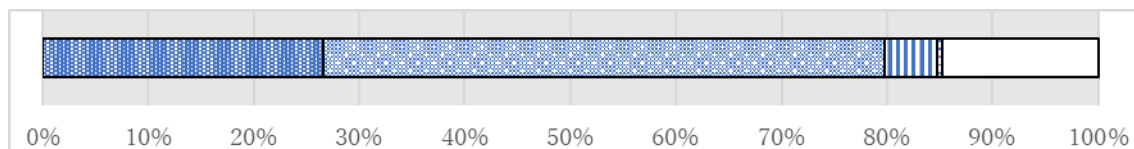
【設問７】 学校は、子どものことについて親切に相談に応じてくれる。



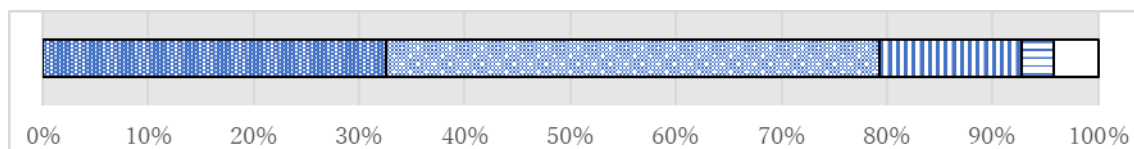
【設問８】 学校は、いじめや不登校などについて真剣に対応している。



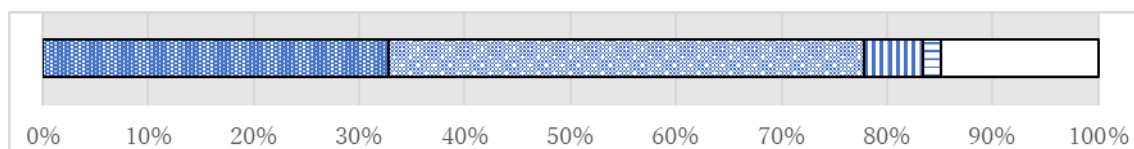
【設問９】 学校は、子どもたちが安心して生活できるような校内環境づくりに努めている。



【設問１０】 学校は、家庭への連絡をきめ細かく行っている。



【設問１１】 学校は、地域に開かれた学校づくりに取り組んでいる。



保護者による学校評価アンケートまとめ

番	子どもの成長を感じたことや感想など(抜粋)
1	野外活動を通して、普段の学校生活ではできない経験をすることができました。コロナ禍で活動が制限されている中で、開催していただき、本当にありがとうございました。
2	通学時に、前の人との距離が離れた時、下級生に対して「離れているよ」などの声掛けが出来る様になりました。
3	この一年ですごく前向きになったように思います。担任の先生への信頼もあるようで安心して授業に取り組み、発言もしていました。発言をみんなや先生に拍手してもらえた事が自信にもなりました。
4	少しずつ落ち着いて生活出来てきている感じがします。また、宿題を自分から進んでやるようになりました。
5	コロナ禍で修学旅行に行かせてもらえたことは、子どもだけでなく、親としてもありがたかったです。先生方がきちんと感染対策をしてくださり、感謝しています。学校で友達とも楽しく生活できていることも家で話題にあがります。学校生活を楽しく楽しく過ごせていることに安心しています。
6	自分たちで案を出して相談し合い、準備練習を通して行われる行事や授業のおかげで、個々の役割や責任を意識できてとても成長できたと思います。

ご意見・要望等	
意見	コロナ禍であってもなんとかできないか工夫して対応してくれている。さらに工夫をしてたくさんの経験をさせてほしいです。
回答	学校としても子どもの学びを止めず、たくさんの経験をさせる場を設けたいと考えています。今後、新型コロナウイルスへの対応も緩和されていくと考えられますが、子どもの安心や健康を優先しながら、常に状況を見て慎重に判断し、方法を工夫しながら進めていきたいと思っています。
意見	悪天候での登下校の危険性について心配です。極力、徒歩でとの学校側の意見も分かりますが、実際には問題も沢山あります。
回答	学校としては、原則通学班での登校をお願いしています。しかし、最も優先しなければならないのは子どもの安全です。特に、悪天候時などは命やけがにも関わってくることがありますので、その時その時の状況や、お子さんの発達段階に合わせて対応してもらえたらと思います。ただ、学校には現在十分な駐車場がありませんし、交差点付近や道路上での混雑、近隣の家や商店などへの影響も懸念されますので、降車場所などを配慮していただきたいです。なお、下校時に警報等が発令された場合は、子どもは学校に一時待機させます。
意見	学校に行きたくないと言い始めました。通学班の問題が解決してないらしいです。親も子も努力しても、本人に伝えたい内容がうまく伝わらず、どうしていいのか戸惑います。
回答	子どもが「学校に行きたくない」ということを言っている場合は、その原因を解消できるように対応してまいります。一回で解決できないとしても、繰り返し声をかけたり保護者の方に相談したりしながら別の手立てを講じていきたいと考えます。時には、子どもたち自身にも、どうしたらよいか考えさせ、よりよい人間関係づくりを築けるような力を育てることも大切だと考えます。いつでもご相談ください。
意見	上の子達の時は、中学に向けて百人一首など必要なことを楽しみながらできるよう工夫をしていましたが、宿題がなくなったり、自主的な活動をしたりなど、先生方の負担をなくすことしか考えていないように思えてなりません。学力は低下すると思います。
回答	今年度、高学年では宿題の出し方を見直し、子ども自身が内容や取り組み方を考えて家庭学習という形で取り組むように働きかけてきました。そのねらいや方法など、担任から子どもや保護者へもお伝えしてきました。12月のアンケートからは、「前向きに取り組めるようになった。」「得意なことに取り組める」という回答が多く、力を伸ばせた子が多い一方で、これまでの決められた宿題の形からなかなか変えられない子も若干いました。子ども一人一人の能力は様々ですし、自分に合った学習方法を見つけられるよう個に応じた助言は今後もしていきます。何よりも自ら考え、自主的に取り組む力を育てていくことが大切だと考えます。

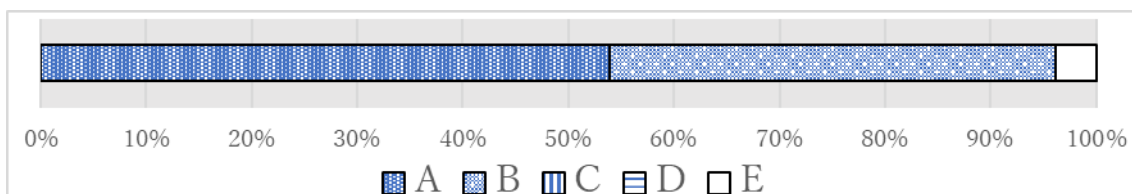
学校評価（地域評価：アンケートによる）

令和5年1月実施

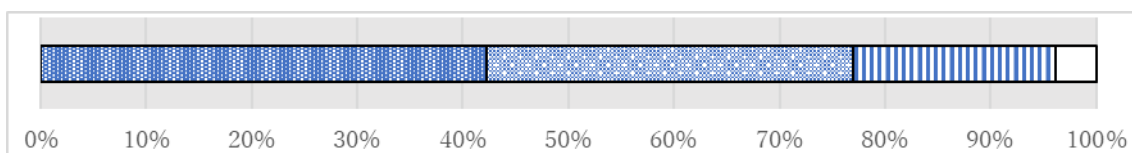


【設問1】 子どもたちは、楽しく学校に通っている。

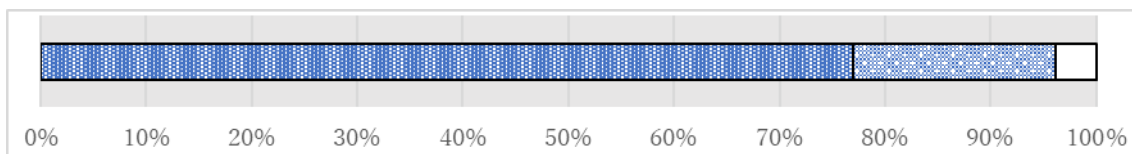
A：よくあてはまる B：ややあてはまる C：あまりあてはまらない
D：まったくあてはまらない E：分からない



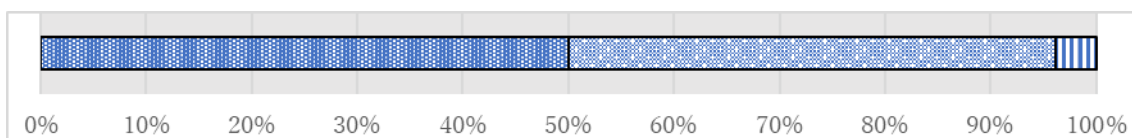
【設問2】 子どもたちは、あいさつができています。



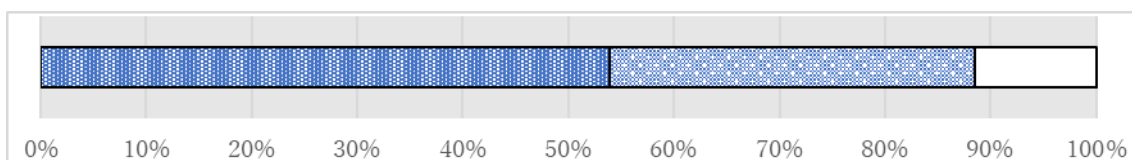
【設問3】 子どもたちは、運動会や学芸会等の行事に積極的に参加している。



【設問4】 学校は地域に対して、学校の教育活動を分かりやすく伝えている。

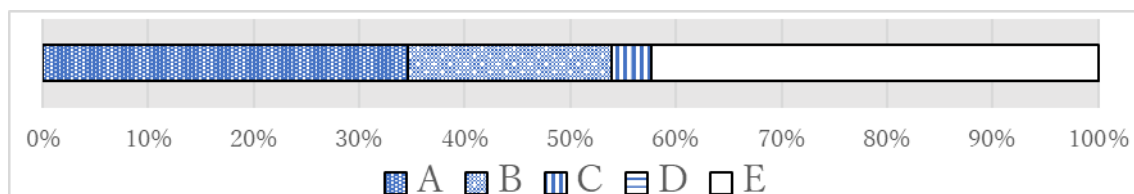


【設問5】 学校は、確かな学力がつくような努力と工夫をしている。

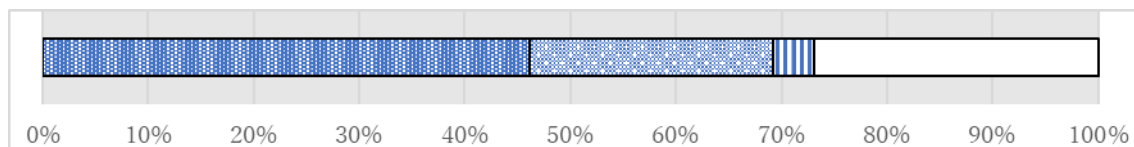


【設問６】 学校は、いじめや不登校などについて真剣に対応している。

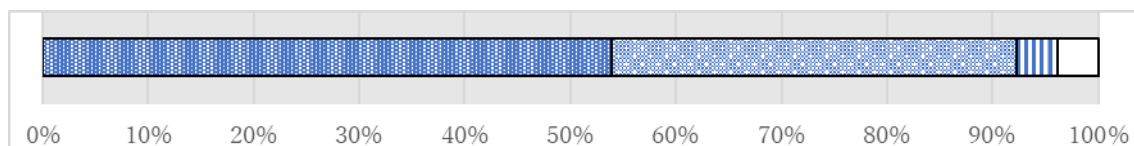
A：よくあてはまる B：ややあてはまる C：あまりあてはまらない
D：まったくあてはまらない E：分からない



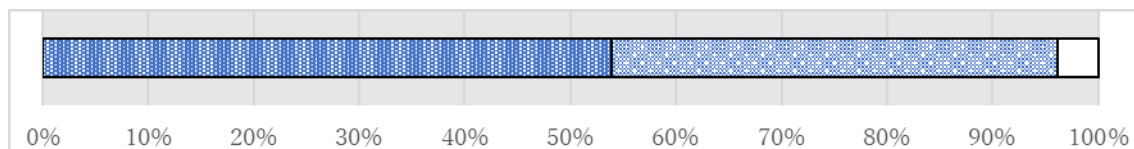
【設問７】 学校は、子どものことについて親身になって相談に応じている。



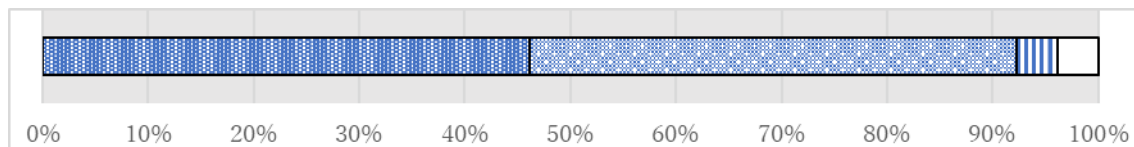
【設問８】 学校は、学校行事について工夫・改善の努力をしている。



【設問９】 学校は、子どもたちが安心して生活できるような校内環境づくりに努めている。



【設問１０】 学校は、地域に開かれた学校づくりに取り組んでいる。



R. 4. 学校評価 地域アンケートまとめ

1	若葉集会(茶園)、田植え、稲刈り、感謝の会など児童が明るく生き生きとしていました。また、挨拶は、大人より児童の皆さんのほうがしっかり礼儀正しくしていると感じました。
2	登校時の状況から察すると覇気がない子、挨拶が出来ない子そして仕方なく登校している子とよく現れています。元気に挨拶を返している子は学校でもキチンと自分を出していることが分かるように思いました。そんな子どもたちも皆んな立派に育って行けると思いますので地域としても見守って行きたいと思います。
★学校より	
本校に伝わる伝統行事を地域の方々の協力をいただきながら継続していくことは、子どもたちにとって大変貴重な経験となります。また、毎日の登下校の見守りや地域の方々の温かい声かけは、子どもの健やかな成長につながっていると感じています。地域の中の学校を意識しながら、地域とともに子どもを育てていく姿勢を今後も大切にしていきたいと思います。	

